

長崎女性問題研究会

事務局 津田尚美

Tel. ...

選挙雑感

松崎澄子

速次刊行物

14.10.14

国立女性教育会館  
女性教育情報センター

お宮日のシャギリの中で、35回総選挙の結果が出た。社会16人減、新自由7人減と大幅に後退。この分だけ共産22人増、民社7人増と躍進した印象です。議員総数511人中に女性共産党だけは5名増加したのですが、それでもたったの10人。自民党内の派閥はほぼ勢力伯中だし、今回の選挙で野党が伸びたことはいくらにしても、この状態は今後の政治の不安定さを感じさせます。国内問題だけでなく何とかなるだろうけれど、外信欄を読むと、益々緊迫しているし、石油、運賃、食糧、貿易等々、世界事情を考えると、暗い気持ちになります。恙なく日本はやってゆけるのかしら？、先日、テレビのスイッチを入れたら偶然、

大物未七人を写している処でした。佐藤栄作未七人は、息子の信二氏の応援活動で息子自身が集めたより多数の票を獲得したのではと思われぬ姿。そして麻生知子さんの息子太郎氏への応援姿勢も同じ。そして当選。一方、江田三郎未七人は江田光子として立候補。息子の五月氏の方が母の応援。そして落選。これをみたら、自民党が女性をみる目は、内助の功、良妻賢母を現在も高く評価しているようにみえます。そして女には立候補の機会を与えたがらない姿勢のようにも。与党の中にこそ女性議員をと希うけど現実にはやはり、男性社会なのだ。つくづく確認させられます。共産党は女性議員を誕生させていくけど、消費運動と福祉だけが政治ではないし、まさか現在の票集め政策上の便宜性だけではないでしょう。政治は生活と密着していると理屈ではわかっていても、現実には私とは全然かけ離れた存在だし、投票する毎に男しか居ないし、

その又効果のなさに無カサを味あうだけ、  
どうしたらいいの? といった気持ち、やはり、  
女性よ、智慧を絞り、結集せよ……か。

ばってんウーマン会におもう

小川郁代

女性問題研究会、形は変ってもほかにも  
いくつものグループがあるであろう。婦人問題  
は国際的にも、又日本国内でも問題になっ  
ている。国連総会では、一九七六年から八五年  
までの10年間を「平等・発展・平和をめざす  
婦人の10年」とすることが決議されたとき、  
一方、我が国でも今年には「男女平等法」を  
めぐって活発な動きがあるときいている。  
このような動きに対してウーマン会の会費は  
機敏に反応を示し、今後のあり方について  
考える必要があるのではなからうか。  
又他のグループとの交流も必要と思う。

ここに、国際女性研究会があるめで紹介し  
てみよう。  
彼女たちは、女性学をめぐる初の国際  
シンポジウム、国際女性学会で東京会議  
を実現させ、推進役をつとめたのである。  
この研究会は6年前、日本留学中のア  
メリカ人女性と女性問題に関心ある日本  
女性とが、日本の婦人運動の先駆者たちの伝  
記を調べて、意見と研究のための情報交  
換をしようとしたのが起り。

そのうち人物研究だけでは物足りなくなり、  
女性問題全体に関わるテーマをめぐって勉  
強しあう形で発展してきたのである。

又一方、このような活動ばかりでなく女性  
問題に限らず意識の高い人とのグループ  
活動はとなく主義主張が折り合わず、人  
の輪に影がさしがちなので、「本音を出せ  
る会」にし、出席するとホッとするような場  
を用意できたらいかがなものでしょうか。

ご意見・ご批判をお寄せ下さい。

山岸本桂子(編集)

# ★事務局から★

津田尚美

◎ばってんシーマンで切り抜き帖を作ります。  
女に因する記事があったらその都度、こまめに切り抜いて下さい。例会の時持ってきて下さいネ。

## △女のノート3年△反響あれこれ△

- ・表紙のデザインが好評。
- ・長い間、書くことから遠ざかっていた主婦にはちょうどよいスペース。
- ・3年間が1度でみられるので便利。3年後が楽しみです。
- ・私のハグ：嫁の命をというお姑さん。
- ・ぼくの幽霊に！
- ・育児日記にするというヤングママ。
- ・グールにもなく一人孤立を余儀なくされている女から。
- ・私の堀江に求めているノートのようです。
- ・著ルーと創意工夫の作品、「女のノート3年」

・4年分のカレンダー、重宝します。

・ビジネス用に職場の机の引き出しに、

・ちょうどバッグに入る大きさ。

・男性からの注文も亦4ボク。

・3年使えて4円は安い。

・カトリックの女性から付録の「粘液観察法に興味があります」と。

・付録部分が少ないとの声も。

・ステラ好文堂へ「女のノート3年」を返本に来た人あり！

「3年間の女の日記がつづられた本かと思った自分を書くものなんて……」

・仲間さんから新婚さんへのプレゼント。

・「女のノート」に初級、中級と書けるようになりたい。私の英語学習！

・物価の動きがわかるわ！

◎千部を越す売れゆきを喜ぶよりも、私たちの運動の一環としてノートの作成が成功したんだと喜ぶたい。

★新会員の紹介

三人目の子がお腹にいるけれど、性に関する問題には悩み、というか分らないことが多い。高うの時、保健の時間におそわったことを今でもはつきりおぼえている。独身の女の先生が「赤ちゃんはね、精子と卵子が結合し合って生まれるんだよ。」

私は無にふだつたために、また相手の男性も（夫でうが）は、きりしたところがなくて、初めてお腹に宿った生命を中絶した。

子供達には、性のことはあたり前のこととして、自分の名前を知っているみたいに、ごく自然なこととして教えたい。まちがったら恥しいといふことも。

★編集者から（山岸本）

事務局に編集はもちつもたれつで二人して楽しみなからやっています。会員の方々のいろいろな情報待っております。

★中央公民館図書室から

- ・女性解放思想史 筑摩書房
  - ・水田珠枝
  - ・日本婦人運動小史 大和書房
  - ・山川菊栄
  - ・女の才能が育つ条件 鎌倉書房
  - ・俵蘭子
  - ・女が職場を去る日 新潮社
  - ・沖藤典子
  - ・性の政治 自由国民社
  - ・ケイト・ミレット
  - ・女性文化の創造へ ELEC出版部
  - ・渥美育子
  - ・女への讃歌（われらの解放）三省堂
  - ・富山妙子
  - ・めだか列島 筑摩書房
  - ・今井美沙子
- 読みたい本の購入をどしどし申し入れましょう。